

一斉指令放送システム

指令情報伝送業務を一括制御。 アナログとIPに対応した旅客指令向け放送システム



機能

- 中央装置**
 - 操作器より一斉放送が行えます。
(IPタイプの一斉放送モニタ装置は個別放送ができます。)
- 一斉放送モニタ装置**
 - 一斉放送モニタ回線(IPタイプはIPネットワーク)に本装置を複数台接続でき、旅客指令からの放送を一斉に聴くことができます。
 - 受信している放送を自動で録音します。(注1)
(放送録音は上書き保存とし、最新の放送のみを保存します。)
 - 一斉放送モニタ装置又はリモコンボックスの再生ボタンを操作することにより、録音された放送内容をスピーカより確認することができます。(注2)
また、再生中に一斉放送モニタ装置又は、リモコンボックスの停止ボタンを操作する事により再生を停止することができます。

注1)アナログタイプの録音時間は約3分、IPタイプの録音時間は約5分までです。

注2)再生中に実放送が入力された場合は実放送を優先します。

定格

■中央装置

	アナログタイプ	IPタイプ
電源電圧	AC100V±10% 50Hz/60Hz	AC100V±10%
	DC24V±10%	
消費電力	120又は200VA以下	500VA以下

■リモコンボックス

外形寸法	W50XH40XD80
------	-------------

■一斉放送モニタ装置

	アナログタイプ	IPタイプ
放送音声出力	-10dBm±1dB (600Ω 平衡)	
スピーカ出力	最大3W/8Ω	
電源電圧	AC100V±10%以内 50Hz/60Hz	
消費電力	100VA以下	50VA以下
中央装置との最大接続台数	台数制限なし	254台まで (但し、本装置の放送音声出力及び放送起動出力端子にアナログタイプを接続することで、接続拡大が行えます。) 注)IPタイプは接続拡大できません
外形寸法	W300XH150XD220	W320XH110XD300

システム概要

- 本システムは旅客指令に設置し各駅に設置されている一斉放送モニタ装置に対して、列車の遅延情報などを放送する装置です。
- 伝送方式はアナログタイプとIPタイプの2種類があります。
- IPタイプはIPネットワークを使用しますので、中央装置から一斉放送モニタ装置までの距離に制限はありません。

システム構成例

